

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営 1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	スタッフ全員で話し合い作成しております。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	目の届く所に理念を掲示し、ミーティング時等日頃から話し合う機会を持っている。又ケアプランに理念を取り入れております。又ケアプランのサービス内容に取り入れ活かしています。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	理念は、ユニットの入口に掲示しており、家族にはお便りに載せて理解していただいています。又地域には運営推進会議にて発表しております。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内会に参加させて頂いたり庭を利用して昼食やおやつを食べたり、近所に買物に行くなど日常のお付き合いを出来るよう努めております。ホームでの行事にも参加させて頂いたりご近所から野菜を頂いたり又入居者様のお料理を食べて頂いたりしています。		町内会にグループホームを広く知って頂きたく、町内の回覧板に年に4回程『舞だより』を入れさせて頂いています。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内の花壇の水撒き、リサイクル活動、お祭りや地域の小学校のふれあいバザー、市電フェスティバル等に参加させて頂いています。		啓明中学校の生徒による『職場体験』を受け入れ、今年で2年目を迎えます。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	近隣の方より、訪問、電話などで、高齢者の今後について、相談を受けることもあり、ホームと事業室が連携して対応しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価の意義をスタッフで理解し、結果をふまえてミーティング等にて報告し、ケアに取り組んでおります。又自己評価作成は、全員で行っています。		
8 運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、取り上げられた検討事項について、1つ1つ積み上げていくようにしています。調査報告概要表を御家族様・民生委員・地域の代表・包括支援センター等に送付させて頂き、各項目について運営推進会議で報告しています。		更に、定期的に運営推進会議を行っております。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	事業所の担当者が、市町村との連携を取っております。札幌市管理者連絡会議などでその情報を共有し、サービス向上に努めています。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	対応とされる方がおりませんが、研修などに参加し、必要な時は支援できるように努めています。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	虐待防止に関するマニュアルがあり、理念に基づいてカンファレンス等で話し合う機会を持っています。(事業所内に安全対策委員会を設けており、共通のマニュアルを作成配布しております)		グループホーム研修委員会、在宅事業管理部の企画している研修に月2回参加しています。
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書には、事前に手渡し内容を把握した上で更に不明な点などを口頭で説明させて頂いております。		
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の言葉や態度から、その思いを察する努力をし、ご本人の思いを伝えられる環境作りを心掛けております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	定期的にお便り『さくらだより』を発行(2ヶ月毎)し入居者様の様子や行事、金銭管理の報告をし、又職員の異動などについても報告しています。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年1回後家族様に無記名で、ご意見、満足度の調査用紙を郵送させて頂いています。その意見を事業室にて取りまとめ、各ホームに反映させております。玄関にて、ご意見ボックスを設置しています。(H20.9月)おたより・面会等にて、気軽にご意見頂ける様呼掛けをしています。		玄関に意見箱を設置しましたが入れづらいのご意見や直接スタッフに話せるから等ご意見を頂き各居室に、ホームへのメッセージノートを置く事にしました。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に2回、個別の意見や提案を聞く機会を設けています。(自己申告書)又月に1回は、カンファレンスを行い職員の意見を聞く機会も設けています。		2ユニットのスタッフ全員にて年4回カンファレンスを行い意見交換の場を設けております。
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	必要に応じて、人員を確保しています。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	やむを得ない異動時は、他スタッフによる引継ぎの面で最善の努力をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>内、外部研修に参加しております又事業所内に教育委員会を設立し、内部研修を定期的に行っています。</p>	<p>研修報告書を、全職員が閲覧できる場所を設けております。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>スタッフ研修に参加したり、他のグループホームと交流を持ち、意見交換をしケアに活かしています。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>他のグループホームとの交流を図り、気分転換できる機会を作っています(年に1回、内部職員の交流会の場を設けています)</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行い、本人の意向を重視しながら働ける環境作りに努めております。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前には、必ず面談を行い、必要に応じてホームへ訪問頂いております。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前には、ホームに数回訪問して頂き、雰囲気等確認して頂き、話し合える機会を設けています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談を受けたときは、早急に事業室に連絡し、他のサービス利用も含めて対応に努めています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>26 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>入居前に、ホームの雰囲気に馴染める様にティータイムにお誘いし、馴れてからサービスの開始をしています。又入居者様によっては、ご家族様に泊まって頂く等して、徐々に馴染んで頂いています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
<p>27 本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>利用者様は人生の先輩であるという考えを、職員が共有しており、普段から利用者へ教えて頂く場合が多い。又そういった場面が多くもてるように工夫や声かけに配慮しています。</p>		
<p>28 本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員は、家族とコミュニケーションを多く持ち、同じ思いで本人を支えるよに努めています。</p>		
<p>29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>新聞の発行、行事の企画案内をして、出来るだけ交流の場を持つるように、より良い関係の継続に努めています。</p>		
<p>30 馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの美容室へ家族と出かけたり、知人の訪問時は、継続的な交流が出来るように努めております。</p>		
<p>31 利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p>	<p>お茶や食事の時間は、職員も一緒に過ごし会話を多く持つように心がけています。お手伝い等をおして利用者様の関係が、円滑になるように努めています。</p>		
<p>32 関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。</p>	<p>退去、入院された方へのお便りや、お見舞い、又近所に来た際に立ち寄っていただけるとしてあります。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>過去の生活歴を踏まえて、ご本人の意向や希望が見えない場合はご家族様からの情報を得て意向の把握に努めています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>ご家族や知人等の訪問時に、情報を頂いて職員と共有しております。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。</p>	<p>日々の申し送りで一人ひとりを理解するとともに、行動や動作から感じ取りご本人の意思に沿った過ごし方が出来るように努めています。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>	<p>御本人の日々の生活内容から意向を汲み取ったり、ご家族様の意見を聞き職員で意見交換し作成するように努めています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>御本人ご家族様の意向を取り入れながら見直しと個々の状況に応じてその都度変更を加え見直しています又医師、看護師と意見交換しプランの中で反映させています。</p>	
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。</p>	<p>介護計画に反映させる為、御入居者一人ひとりの言葉や変化を個別の気づきノートに記入し情報を共有しながら見直しや評価を実施しています。</p>	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている。	家族の状況や要望に対し、臨 機応変の対応し、病院受診の 同行(送迎)や、理美容室への 同行(送迎)など行っております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、 民生委員やボランティア、警察、 消防、文化・教育機関等と協 力しながら支援している。	御本人と地域の様々な接点を見 出し民生委員のボランティアで バス旅行、又は小中学校の行 事に参加したり、大正琴の演奏 会に出かけております。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、 地域の他のケアマネージャーや サービス事業者と話し合い、他 のサービスを利用する為の支援 をしている。	町内会のすこやか倶楽部に参加 したり、訪問美容、訪問歯科サ ービス、を定期的に利用して おります。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、 権利擁護や総合的かつ長期的な ケアマネジメント等について、 地域包括支援センターと協働 している。	運営推進会議に参加して頂き、 定期的に情報交換をして おります。		
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員ある いは地域の看護職と気軽に相談 しながら、日常の健康管理や医 療活用の支援をしている。	事業室の協力医の他、かかりつ け医の通院も可能であるが、訪 問診察にも応じ複数医療機関 と連携している。又毎週看護師 の訪問もあり健康管理も 行っております。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と 関係を築きながら、職員が相談 したり、利用者が認知症に 関する診断や治療を受けられ るよう支援している。	訪問診察の医師に指示や助言を もらっています。必要に応じて、 脳外科等に受診しております。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保し ている又は、利用者をよく知る 看護職あるいは地域の看護職 と気軽に相談しながら、日常の 健康管理や医療活用の支援を している。	訪問看護ちゅうおうの協力の もとに、日常の健康管理等を2 4時間体制にて気軽に相談 しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には本人の情報を医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにしています。又、家族とも情報交換しながら速やかな退院支援に結びついている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	常に御家族に状態を報告し可能であれば、本人の意向を主に御家族、主治医と連絡を密にしています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	本人の気持ちを大切に、家族と話し合い、利用者が安心していけるよう取り組んでいる。急変した場合は、すぐに対応できるよう医療機関と連携を図っています。		
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	他の事業所に移られた場合、アセスメント、支援状況等を手渡し、情報交換を行い、馴染みの職員が機会を作って訪問に行くようにしている。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	申し送り時などは、部屋番号にて行い、記録は1人づつ分け特定の保管場所に保管しています。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者様と過ごす時間を通して、希望や関心事を見極めて、本人に選んでもらうような場面作りを心掛けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様1人ひとりに合わせた生活リズムが、送れるような支援を心掛けています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	個々の生活習慣に合わせた支援をし、日頃から化粧やおしゃれを楽しむ時間を大切にしています。		資生堂ビューティボランティアさんによる化粧をして頂き、おしゃれを楽しむ時間をとり入れております。
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	買物に行ったり、調理や配膳、下膳のお手伝いをして頂いたり、職員と利用者様が同じテーブルを囲んで楽しく食事できるよう雰囲気も大切にしています。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	嗜好を把握し、メニューに取り入れています。個々の好みの物を、おやつ時や誕生会、年中行事時等に取り入れ、日常的に楽しめる工夫をしています。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導することによって、トイレでの排泄ができるように支援しています。下着に尿取りパットのみを使用して、オムツ使用を減らすように努めています。又プライバシーにも配慮しさり気ないお誘いを心掛けております。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	その都度利用者様の希望を確認し、入浴して頂くようにしています。色々な入浴剤を入れたり、音楽を聞くなどして、入浴が楽しくなるように心掛けています。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	午前中は特に活動的に過ごして頂けるようレクリエーションや趣味活動をお手伝いしています。暖かい時期には外気浴も心掛けています。眠る前にゆっくりお話をしたり、悩みや不安を軽減できるように心掛けています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者様1人ひとりの力を発揮してもらえよう、食事作りや気晴らしに買物、ドライブ等外出できるよう心掛けています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金は事務所に保管しており、買物や外食した時等は、お金を手渡し、支払い出来るよう支援しています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	気分転換をかねその日の状況に応じて散歩、野菜の収穫、花壇を見に行ったりと戸外に出かけられるようにしております。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言っていたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	季節毎の行事(花見・食事会・紅葉狩り等)を企画し、御家族にも参加頂きながら実施しています。(赤とんぼ農園の収穫、南太鼓祭り、定山溪果物狩り(家族交流会)月寒森林公園お花見)		遠出の出来ない方達に関しての外出支援として、出来るだけ近隣にての外出回数を増やして行きたいと思っております。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	本人の希望に沿って、何時でも電話を掛けられる様にしております。手紙を書ける方には状況を見ながら支援しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家庭的な雰囲気作りを心掛け、何時でも訪問いただけるよう時間の制限等はしておらず、周りに気兼ねなくゆっくりとくつろげる様にしてあります。リビングで御家族が他の入居者様と気軽にお話ができる環境作りも心掛けています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的カンファレンスや日々の申し送り時に、業務内容の再確認を行いながら、身体拘束に関わる事例がないか検討、確認作業を行っています。委員会の企画する研修の参加と外部研修に参加しております。		身体拘束廃止に向けて身体拘束3原則提示しスタッフ全員が心得ております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関は常に施錠しているが、面会は常時受け入れており、外出の希望にも対応しています。地域がら施錠は必要と考えております。		
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者様と同じ空間で過ごしながら、声を掛け合って状況を把握するように努めています。又、夜間も毎時間毎に確認をとり、覚醒された時などはすぐに対応できる見守りの場所を工夫している。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	利用者様の状況に合わせ、嚴重に保管すべき物・保管管理が必要な物・利用者様が使う時に注意が必要な物等に分けて管理しています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	日々のカンフェレンス等で話し合い、職員間で確認する様努めています。万一の事故発生時には、速やかに事故報告書を作成し、原因予防について検討しています。(防火訓練は7月と11月に行っています)		愛全会グループホームにて安全委員会を設立し共通の事故マニュアルを作成し事例検討も行ってあります。(事故報告書については、運営推進会議にて報告し御家族に郵送してあります。)
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	全ての職員が応急手当の勉強会に参加して、知識を身につけて対応に努めています。		法人の看護師に研修等にて緊急時等の対応を学んであります。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	マニュアルを作成し、防火訓練を行っています。(冬期間は、業者の方に依頼しホーム周りの避難通路の除雪を行っていただいています)又運営推進会議を通して更に地域の協力を得られるように働きかけてあります。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	色々な活動や自由な外出により、リスクが高くなるが、力の発揮や抑制感のない暮らしが利用者の表情を明るくしている事を、家族に見てもらったり、面会時に説明するよう心掛けてあります。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	普段の状況を把握して、変化の見られたときは、バイタルチェックを行い、記録に残し状況により、御家族、訪問看護、訪問診察と連携を取り医療受診につなげている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の内容を、職員が把握できるようにしています。(処方箋)服薬時は本人に手渡し、服用しているか確認しています又薬のセット時は、セットする人飲ませる人を替えて行っています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	適度な運動を心がけ、食事は、野菜や乳製品も多く取り入れるようにしています。水分量は毎日把握しており少ない方には、容器の工夫や、嗜好の把握に努めています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後には全員に歯磨きを促し、声かけや見守りで清潔を保持しています。義歯の方には毎晩洗浄剤につけるように支援しています。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士の作成したメニューにより、その人に合った食事量や、その方の力に合わせた器を選び、形状にも工夫して食べて頂いています。又水分はチェック表を参考に1000ccを目標に摂取出来るよう努めています。(器の工夫、ゼリー等を取り入れてます)		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを作成しており、入居者、職員の手洗いを徹底しており、来所された方にも手洗いをして頂いています。職員共に、インフルエンザ予防接種を受け、ノロウイルス対策としてペーパータオルを使用しています。		インフルエンザ対策として玄関に手指の消毒液とマスクを設置しうがいの徹底をしております。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	洗剤・除菌剤を使用し食器洗浄機を活用しています。肉用・野菜用のまな板を使い分け、毎日漂白し清潔を心掛けている。新鮮な食材を使用し衛生管理を徹底しています。又冷蔵庫、冷凍庫の点検も頻繁に行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	芝生の上や玄関前に椅子を置き、気軽に掛けて頂けるようにしています。又花を生けたりプランターを置いたり、季節感を出すようにしています。建物の周辺に畑を作り、近隣の方との触れ合いの場面づくりとなっています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングと台所が共有されており、料理の音・匂い・作っている様子が分るようになっております。リビングには、入居者様手作りの季節毎の貼り絵を飾っています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング2箇所、ソファやテーブルを置いてお茶を飲んだり景色を眺められる居場所の工夫をしています。夏にはベランダで日光浴等でゆったりと過ごせる時間を作っています。		
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具や生活用品・装飾品等が持ち込まれており居心地良く過ごせるように工夫をしています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	状況に応じて空気の入替えや換気に努めています。又トイレは、換気扇と消臭剤で臭いが出ないよう工夫をしています。各部屋に温度計を設置し入居者様によって加湿器も使用しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	生活環境のあらゆる所に手すりが設置されており、料理用のカウンターには食器収納スペースがあり入居者様が使用しやすい様設定されています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	本人にとって何が分かりづらいのか、スタッフ間で話し合い状況に合わせて環境整備に努めています。(トイレ、浴室には表示があり居室には表札をつけております)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>87</p> <p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>庭には芝生があり、花壇や畑のスペースを設け入居者が日常的に楽しみながら活動できるような環境をつくっている。</p>		

. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>入居者様の日々の行動や表情より又直接本人からの声を聞いて、意向を掴めるよう努めています。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>リビング等でコミュニケーションを中心に特に、午後に静かな時を共に過ごすよう心掛けている。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>個人の生活リズムを大切に崩さないように、さりげない声かけと、対応に努めています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>出来ること(料理、縫い物、掃除、買物)のお手伝いをする事で、表情が生き生きとされています。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>利用者様の要望に出来るだけ添えるよう、ご家族様を含め調整するようにしています。近隣の散歩や買物は、その都度行っています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>入居者様と馴染みの関係となっている医師、看護師が定期的に訪問されることで、安心されているようです。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>家に帰りたいとの、想いのある時等は、一緒に外出したり、電話を掛ける事で安心されるよう努めています。又食事の面においては、本人の体調や要望に応じて嗜好品を添えたり、形状にも配慮するよう努めています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p> <p>家族の来訪時には、時間をとって話を良く聞くようにし、不安や想いも気軽に話せる関係づくりに、努めています。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>馴染みの友人、知人の訪問があり、又町内には、近所付き合いが出来る馴染みの人がいます。</p>

. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	地域の小学校や町内会の活動に参加し、少しずつつながりが広がっています。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	カンファレンス時等には、意欲的な意見やアイデアが出されています。又入居様とのかわり時には、笑顔が多く見られ生き生きと働いていると思われず。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	日々の穏やかな様子や、他入居様との支えあいや笑顔を見ることで、満足されているように、感じられています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	来訪時や、年2回の家族と交えた行事にて、感謝の言葉を頂けたりすることで、満足されているように感じられます。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】		
(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)		中央区という立地条件でありながら、藻岩山の緑に囲まれた四季折々の景色が楽しめ、ホームの周りには、芝生や菜園があり、近隣の方との交流も行えています。又周辺には歩いていける距離に、飲食店が多く、気軽に利用しています。楽しみを少しでも多く持って頂くために、その人が求めている「おでかけプラン」を実行しております。